

人権って、なに？

あなたは人権と聞いて、どのようなことを思いうかべますか？
人権と聞くと、何かむずかしく考えてしまいませんか？

人権とは、誰もが生まれながらにして持っている、人間として幸せに生きていくための権利です。

そして、わたしたち一人一人にとってかけがえのない大切なものであり、人が生きていくうえで無縁でいられないものでもあります。

わたしたちは、「自分の個性や能力を生かして働きたい」「健康で文化的な生活がしたい」など、幸せに暮らせるようさまざまな願いを持っています。そして、この願いがかなうよう日々努力しています。

しかし、わたしたちのまわりには、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、多様な性などにかかわる問題やインターネット上の人権侵害など、さまざまな人権問題があります。

わたしたちは、誰もが平等で幸せに生活できるように、お互いを尊重し、力をあわせて思いやりのところを大切にする社会を築くことで、はじめて一人一人が豊かに生きることができるのです。

この冊子では、人権をさまざまな角度から見つめ、個別の人権問題をわかりやすく解説しています。

人権についての行政の取組などの情報に触れていただくことで、人権を自分自身にかかわる身近な問題として、気づき、考え、行動していただきたいと思います。

特集『そうぞう』を新設しました！

人権尊重社会を実現するためには、さまざまな偏見や差別をうけている人の状況・気持ちを「想像」することと、豊かな人権文化を「創造」することが必要です。これらの「そうぞう」につながるようという思いを込めて、「ゆまにてなにわ 39」冊子の冒頭に特集ページ『そうぞう』を設けました。

今回は「インターネット上の人権侵害」「平和」をテーマに、NPO 法人「Remember HANA」代表の木村響子さんと、「ピースおおさか」（大阪国際平和センター）館長の片山靖隆さんにお話を伺いました。

ぜひご一読いただき、「そうぞう」いただければ幸いです。